

島根県における 「がんサロン」の活動

平成19年11月25日(日)

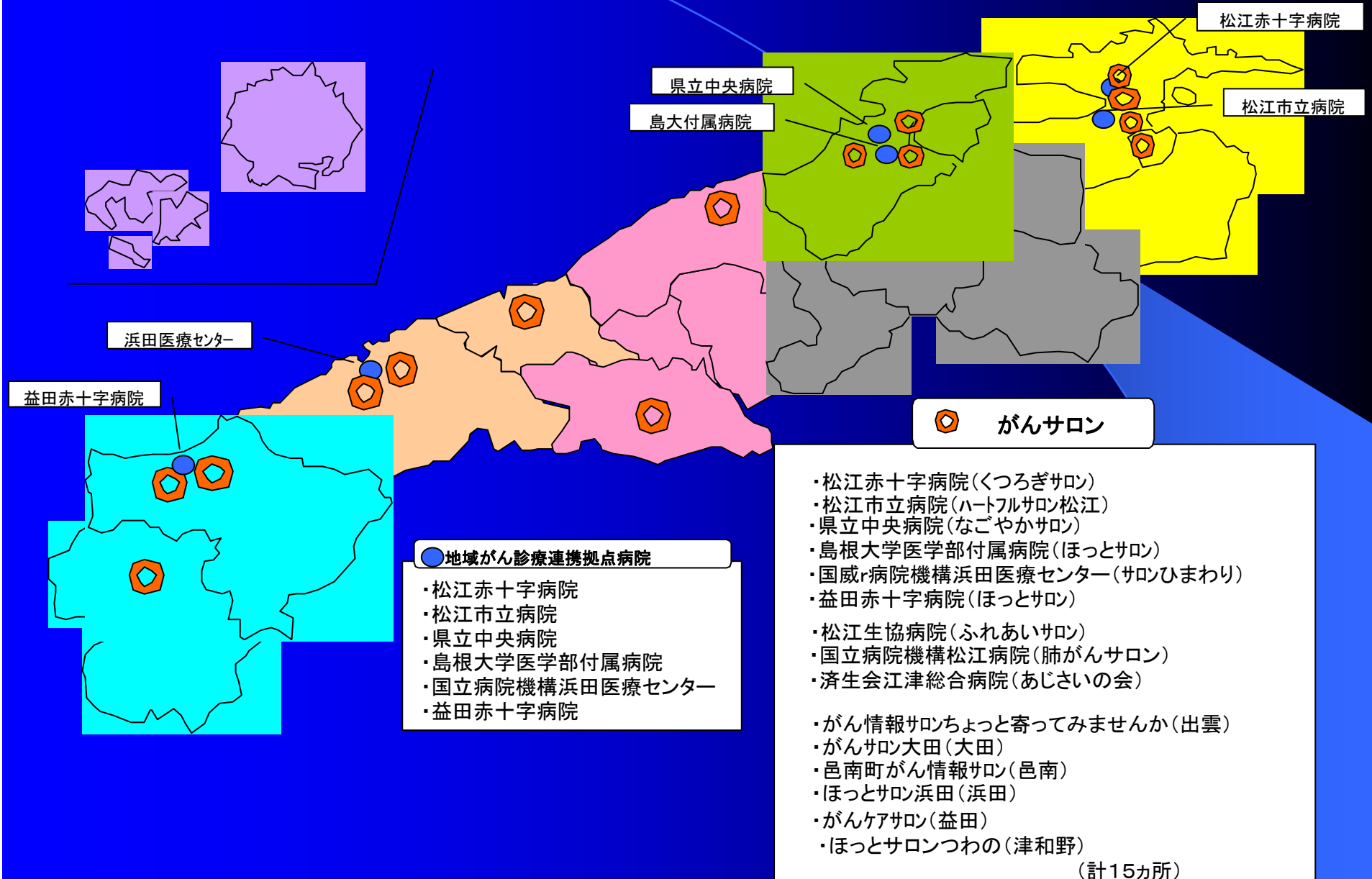
がんケアサロン

納賀 良一

がん情報サロン ちょっと寄って見ません家

佐藤 愛子

島根県内のがんサロンとがん拠点病院一覧



島根県におけるがんサロン活動の歴史(1)

(平成15年度～17年度)

<平成15年10月>

- ・「癌と共に生きる会」島根代表 佐藤 均氏(故人)から『抗がん剤治療専門医の早期育成を求める請願書』が県議会議長に提出され、採択される。

<平成16年4月>

- ・島根大学医学部附属病院に『腫瘍科』が設置される。

<平成17年12月>

- ・益田市在住の納賀が『がん患者交流サロン(がんケアサロン)』を開設。
(県内初の「がんサロン」)

<平成18年1月>

- ・松江赤十字病院に県内初の「院内がんサロン」である「くつろぎサロン」が開設。

島根県におけるがんサロン活動の歴史(2) (平成18年度)

<平成18年4月1日>

- ・出雲市在住の佐藤が出雲市内に「がん情報サロン ちょっと寄って見ません家」を開設
(県内初の「常設」がんサロン)

<平成18年7月～8月>

- ・松江市立病院に「ハートフルサロン松江」(故三成一瑠氏が初代代表)が開設されるなど、県内全てのがん拠点病院に次々に「院内がんサロン」が開設

<平成18年9月>

- ・島根県議会議員全員の提案による「島根県がん対策推進条例」が県議会に上程され、可決される。
(全国初の条例)

<平成19年2月>

- ・出雲市議会において議員提案による「出雲市がん撲滅対策推進条例」が上程され、全会一致で可決される。

島根県がん対策推進条例(抜粋)

島根県がん対策推進条例 第6条 (患者会等への活動の支援)

県は、がん患者、その家族等により構成される県内の民間団体が行うがん患者の療養生活及びその家族の生活に対する活動を支援するために必要な施策を講ずるものとする。

「がんサロン」の特徴

- (1) 患者会ではない
いつでもだれでも参加が可能、出入り自由
複数のサロンに参加が可能
- (2) 活動を支える人は「お世話役」と呼称
- (3) 活動内容は参加者の意見をもとに決める
- (4) 患者どおしの交流を基本としつつ、医療機関
や行政も巻き込んだ活動、地域に向けての活
動も展開
- (5) 県ホームページを活用した情報交換を行うと
ともに、サロン同士の交流も実施

益田市における 「がんケアサロン」活動の紹介

- がん診療連携拠点病院との意見交換を行い、さまざまな提案を行う。
- 地域の小中学校に出向いての「いのちの授業」の実施、看護学生にたいする講義の実施
- 「がん征圧月間」に合わせた連続イベントをがん拠点病院、益田市、県益田保健所と連携して実施

「がんをいっしょに考える集い」の開催 (平成19年1月、7月)

- 主催は、患者サロンのメンバーを中心とした実行委員会。
- がん患者・家族の意見発表をメインとし、患者・家族、医療関係者、行政関係者が一堂に会してがんを一緒に考えることをねらい。
- プログラム
 - 第1部 がん医療の第一人者による講演
 - 第2部 がん患者・家族による意見発表と医療関係者、行政関係者を交えた意見交換
- 集いにあわせて、各がんサロンの活動紹介をパネル展示。